

# 平成 23 年度名古屋市の施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の使用状況調査結果について

農薬・殺虫剤等の薬剤は、病害虫の防除等において有効ですが、使い方によっては、人の健康や生態系に影響を及ぼす可能性があり、適正使用の徹底が望まれているところです。そこで、本市では、平成 20 年度から市の施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用を徹底するため、使用状況に関する調査を行っています。

平成 23 年度の調査結果では、薬剤の使用量は昨年度に比べ屋外は増加、屋内は減少していました。また、生息状況調査結果に基づく薬剤の使用や施設等利用者に対する薬剤使用の周知などで、まだ十分に徹底されていないものがありました。

## 第1 調査概要

### 1 調査の対象となる施設等

- (1) 市が所有又は管理する建物及び土地
- (2) 市が所有又は管理する樹木及び草花等の植物
- (3) 市が事業者となる一般乗合旅客自動車及び鉄道車輛

### 2 調査の対象となる薬剤の種類

- (1) 農薬
- (2) 殺虫剤
- (3) 殺そ剤
- (4) 消毒剤

なお、スプレー缶については、平成 23 年度調査から 1 回に 1 缶(本)以上使用する場合は対象としました。

※ 一般消費者用の粘着シート、食毒剤、洗剤(界面活性剤)、消臭剤は対象外としています。

### 3 調査内容

- (1) 薬剤使用の有無
- (2) 病害虫等の生息状況調査に関すること
- (3) 使用した薬剤の名称、使用量及び記録・保存に関すること
- (4) 薬剤の使用方法に関すること
- (5) 周辺への配慮と安全対策に関すること

## 第2 調査結果

### 1 薬剤使用の有無

「薬剤の使用あり」と回答した施設等は 508 件ありました。そのうち、屋外における薬剤使用は 166 件、屋内における薬剤使用は 442 件ありました。(表 1)

表1 部署別の回答件数\*

部署名	件数		区分				薬剤を使用した 主な施設等
	調査 対象 施設等	薬剤 使用 施設等	屋外 (農薬等)	屋内	内訳		
					(殺虫剤 ・殺そ剤)	(消毒剤・ シロアリ 防除剤)	
市長室	2	2	1	2	2	0	国際センタービル、公館
総務局	4	0	0	0	0	0	
財政局	3	1	1	0	0	0	市有地
市民経済局	47	24	5	22	20	5	公設市場
環境局	41	7	2	7	7	0	清掃工場、し尿処理場
健康福祉局	51	25	13	22	16	6	福祉施設
子ども青少年局	154	17	13	5	4	1	保育園
住宅都市局	20	6	2	5	5	2	市営住宅
緑政土木局	79	18	15	6	6	1	街路樹、公園
区役所(16区計)	278	20	14	10	10	1	区役所、生涯学習センター
教育委員会事務局	511	371	96	349	202	332	学校、スポーツセンター
消防局	67	3	1	2	2	0	消防署
上下水道局	184	9	2	8	8	0	ポンプ場、水処理センター
交通局	86	4	1	3	3	0	地下鉄駅
病院局	4	1	0	1	1	0	病院
合計	1531	508	166	442	286	348	

\*複数施設等で一括して薬剤を使用している場合、1件として計上している所もあるため、各部署が公表等している施設等数とは一致しません。

## 2 病虫害等の生息状況調査に関すること

薬剤を使用した施設等のうち、薬剤を使用する前に病虫害等の生息状況調査を実施した施設等は、屋外 100%、屋内 99.7%でした。なお、昨年度は、薬剤を使用したすべての施設で生息状況調査を実施していました。

また、生息状況調査をした施設等では、ほとんどが生息状況に基づき薬剤を使用していました。一部の施設は生息状況調査に基づかず、一律に薬剤を使用していました。

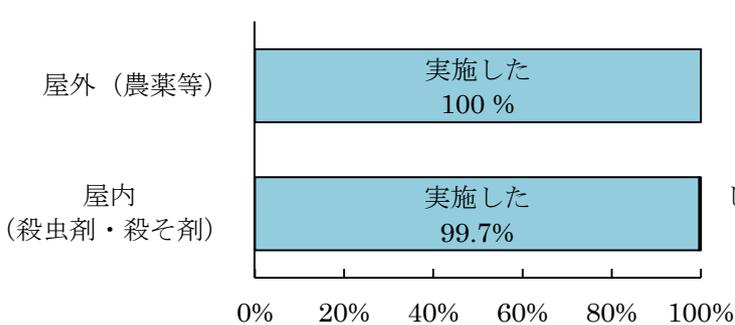


図1 生息状況調査の実施状況

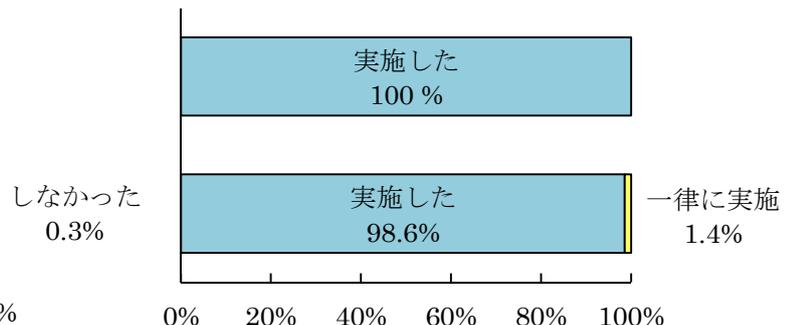


図2 生息状況調査結果に基づく  
薬剤の使用状況

### 3 使用した薬剤の名称、使用量及び記録・保存に関すること

使用した薬剤の使用量は、屋外 2536.86 リットル(kg)、屋内 2295.20 リットル(kg)で、昨年度に比べ、屋外では増加、屋内では減少しました。

使用薬剤の内訳としては、屋外では、主に樹木の害虫や病気、雑草の防除、ムカデや蚊などの衛生害虫対策などのために、有機リン系の殺虫剤、無機化合物系の殺菌剤、アミノ酸系の除草剤などの農薬等を使用していました。

屋内では、ゴキブリなどの衛生害虫の防除のために、有機リン系・ピレスロイド系の殺虫剤などの薬剤を使用していました。また、細菌等の消毒に、逆性石鹼・アルコールなどの消毒剤を使用していました。(詳細については、参考 2.薬剤の有効成分による分類及び使用量 を参照)

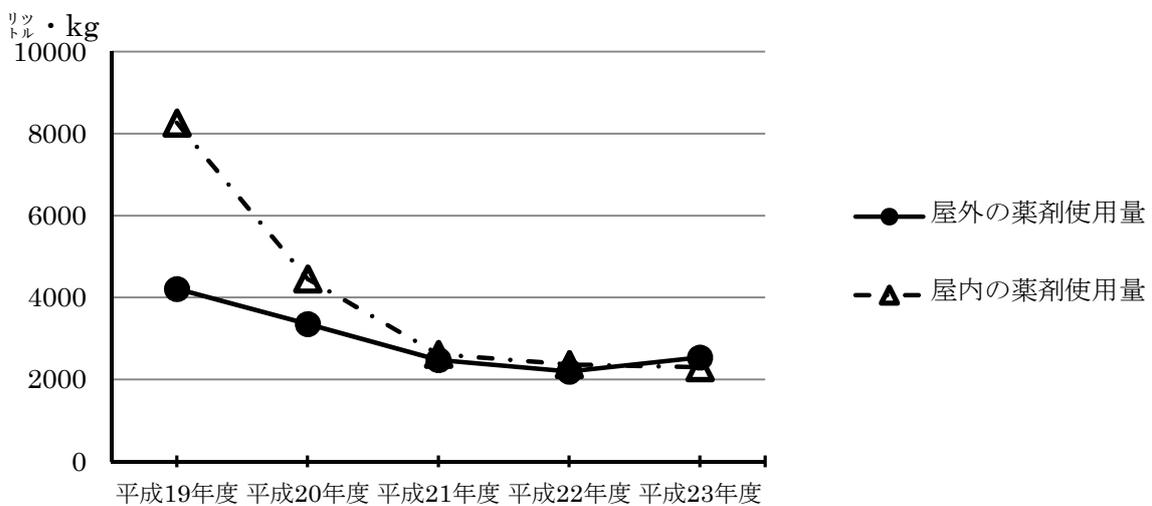


図3 薬剤使用量の経年変化

また、使用した薬剤の名称及び量の記録・保存に関しては、一部の施設において実施されていませんでした。

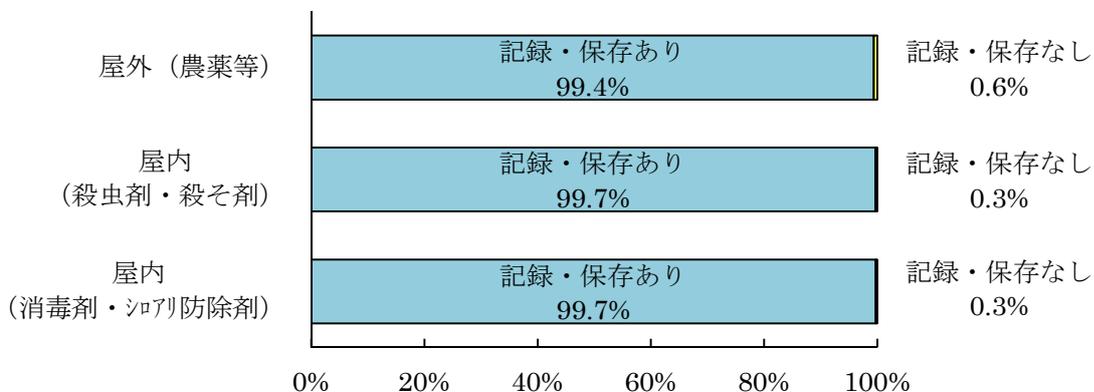


図4 使用薬剤の名称等の記録・保存

#### 4 薬剤の使用方法に関すること

薬剤の種類により異なりますが、使用方法は屋外（農薬等）91.7%、屋内（殺虫剤・殺そ剤）29.0%、屋内（消毒剤・シロアリ防除剤）44.8%が散布により薬剤を使用していました。昨年度と比較すると、屋内（殺虫剤・殺そ剤）において散布以外の使用が増加しました。

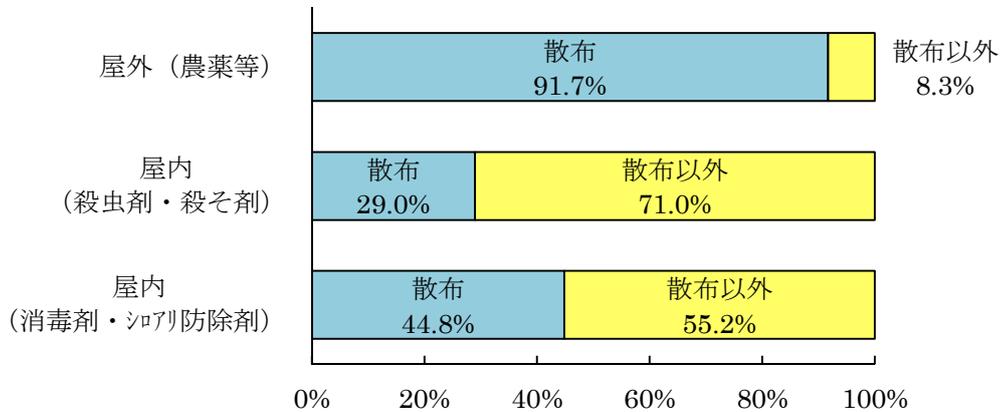


図5 薬剤の使用方法

#### 5 周辺への配慮と安全対策に関すること

薬剤を散布した施設のうち、施設利用者等に対して薬剤使用の作業日時や作業方法等の周知を実施していた施設等は、屋外（農薬等）97.0%、屋内（殺虫剤・殺そ剤）97.9%、屋内（消毒剤・シロアリ防除剤）99.7%で、昨年度同様に多くの施設で周知が行われましたが、一部の施設では周知が行われませんでした。

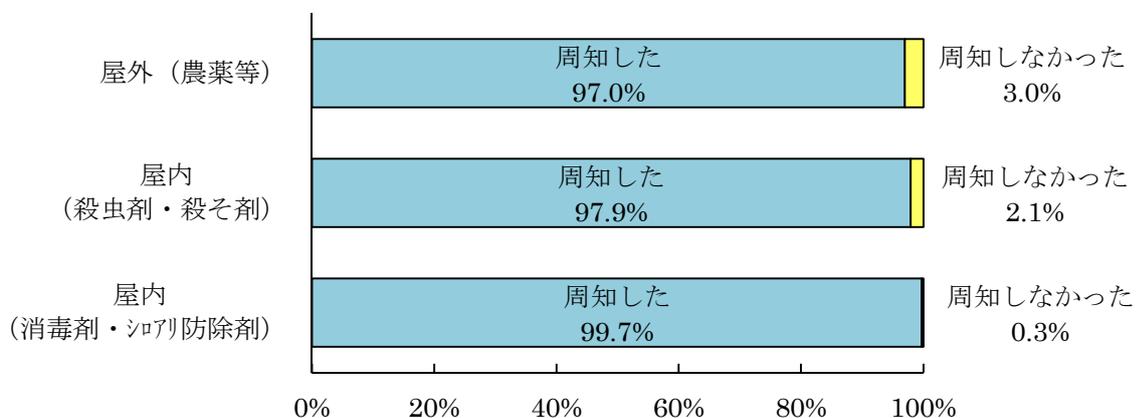


図6 施設利用者等に対する周知

### 第3 今後の対応

今後もこのような調査や職員の研修等を通じながら、「名古屋市施設等における農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用に係る基本指針」や「農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用マニュアル」の周知徹底を図り、農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用の徹底に努めてまいります。

## <参考>

### 1. 用語説明

用語		説明
農薬	殺虫剤	農作物などに害を及ぼす害虫を防除する薬剤
	殺菌剤	農作物などに害を及ぼす病気を防除する薬剤
	除草剤	雑草を防除する薬剤
	植物成長調整剤	農作物の生育を促進したり抑制する薬剤
	展着剤	他の農薬と混合して使い、その農薬の付着性を高める薬剤
殺虫剤 (シロアリ防除剤を除く)		衛生害虫(ゴキブリ等)又は不快害虫(ハチ等)を防除する薬剤
シロアリ防除剤		シロアリを防除する薬剤
殺そ剤		ネズミを防除する薬剤
消毒剤		細菌等を消毒する薬剤 (建物や車輛の床等構造物の消毒(器具消毒、人体消毒等は対象外))

※ 用語の説明は、この調査における定義です。

## 2. 薬剤の有効成分による分類及び使用量

### (1) 屋外（農薬等）

区分	有効成分による分類 (主な薬剤の種類)	平成 23 年度		平成 22 年度		
		使用量		使用量		
		液体 (単位:ℓ)	固体 (単位:kg)	液体 (単位:ℓ)	固体 (単位:kg)	
農薬	殺虫剤	有機リン系 ・MEP (フェニトロチオン) ・DEP 乳剤 ・アセフェート 等	88.06	86.73	140.15	78.19
		物理的障害系 ・マシン油 等	221.90	-	227.73	-
		ピレスロイド系 ・エトフェンプロックス 等	19.13	4.28	18.04	-
		その他	222.66	63.42	26.04	50.00
		小計	551.75	154.43	411.96	128.19
	殺菌剤	無機化合物系 ・石灰硫黄合剤 等	688.00	84.69	590.50	49.70
		有機硫黄系 ・マンネブ 等	-	9.23	-	11.50
		ベンゾイミダゾール系 ・チオファネートメチル ・ベノミル 等	-	18.76	-	20.66
		ジカルボキシイミド系 ・イプロジオン 等	-	3.11	-	4.18
		EBI 系 ・トリアジメホン ・トリフルミゾール 等	0.50	12.44	0.90	7.11
		その他	70.18	120.53	31.67	128.58
		小計	758.68	248.76	623.07	221.73
	除草剤	アミノ酸系 ・グリホサート ・グリホシネート 等	84.67	-	140.69	0.10
		その他	13.68	9.55	7.52	0.20
		小計	98.35	9.55	148.21	0.30
	植物成長調整剤	・ジベレリン ・インドール酢酸 等	-	-	6.85	-
	展着剤	・APE (ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル) 等	2.31	-	7.37	0.12
	農薬以外の殺虫剤・殺そ剤・消毒剤		502.28	210.75	474.68	176.88
	区分別小計		1913.37	623.49	1672.14	527.22
	合計		2536.86		2199.36	

※ 使用量は、希釈前の原液等の量（商品の量）です。

## (2) 屋内

区分	有効成分による分類 (主な薬剤の種類)	平成 23 年度		平成 22 年度	
		使用量		使用量	
		液体 (単位:リットル)	固体 (単位:kg)	液体 (単位:リットル)	固体 (単位:kg)
殺虫剤	有機リン系 ・フェニトロチオン ・クロルピリホスメチル ・サフロチン 等	741.07	7.79	609.78	5.17
	ピレスロイド系 ・ペルメトリン ・フェノトリン 等	530.37	228.80	262.08	173.40
	有機塩素系 ・オルトジクロロベンゼン 等	66.00	-	479.50	180.00
	昆虫成長阻害剤 ・ジフルベンズロン 等	20.84	2.18	117.23	7.30
	カーバメート系 ・プロポクスル 等	4.20	6.15	4.00	-
	食毒剤 ・ヒドrameチルノン 等	-	7.75	24.85	6.81
	その他	3.55	11.03	-	67.56
	小計	1366.03	263.70	1497.44	440.24
シロアリ 防除剤	防蟻剤 ・クロチアニジン ・プラレトリン 等	35.08	-	34.91	-
殺そ剤	クマリン系 ・ワルファリン 等	-	36.08	0.24	73.03
	その他 (忌避剤を含む)	-	0.18	-	0.46
	小計	-	36.26	0.24	73.49
消毒剤	フェノール系 ・クレゾール 等	46.81	-	37.83	-
	逆性石鹼 ・塩化ベンザルコニウム 等	389.70	-	228.75	-
	アルコール	108.66	-	27.38	0.20
	次亜塩素酸	44.46	-	0.80	-
	その他	-	4.50	24.82	3.00
	小計	589.63	4.50	319.58	3.20
区分別小計		1990.74	304.46	1852.17	516.93
合計		2295.20		2369.10	

※使用量は、希釈前の原液等の量（商品の量）です。また、薬剤の数（本数、個数など）で報告されたものは含みません。